

氏名 角 南 重 夫

学 位 の 種 類 医 学 博 士

学 位 授 与 番 号 甲 第 3 5 7 号

学 位 授 与 の 日 付 昭和47年 3 月31日

学 位 授 与 の 要 件 医学研究科社会医学系公衆衛生学専攻  
(学位規則第 5 条第 1 項該当)

学 位 論 文 題 目

農民及び漁民の健康調査

第 1 編 特に血液学的面よりの老察  
昭和44年 4 月岡山医学会雑誌第81巻, 第3, 4号に掲載

第 2 編 労働疲労の検討  
昭和46年 5 月日本農村医学会雑誌第20巻, 第1号に掲載

第 3 編 健康度評価について  
昭和46年12月岡山医学会雑誌第83巻, 第11, 12号に掲載予定, 原稿28枚

第 4 編 血液値の変動に関する検討  
昭和46年12月岡山医学会雑誌第83巻, 第11, 12号に掲載予定, 原稿41枚

第 5 編 いわゆるハウス病症候群の予防に関する研究  
第 1 報 小型レストハウスの設置と防温, 防湿効果について  
昭和47年 2 月日本公衆衛生雑誌, 第19巻第 2 号に掲載予定, 原稿47枚

論 文 審 査 委 員

教授 大 平 昌 彦

教授 平 木 潔

教授 小 坂 淳 夫

学 位 論 文 内 容 の 要 旨

農民及び漁民の健康調査を行ない, 血液検査, 尿検査, 体位, 血圧, 疲労, 農夫症などの成績により健康障害, 健康度の評価を試みた。血液値の年齢の変動, 季節的変動, 血液値相互の相関, 回帰, 血液値の各調査回間の相関などにより, 農民及び漁民の健康度の比較, 血液値の変動の検討などを試みた。家庭の健康に及ぼす影響を調べ, 血液値, 疲労症状, 農夫症などに夫婦の相関を認めた。夏期に於ける農民の健康障害として血液値の低下, 体重の減少, GoT の上昇などを認めた。ビニルハウス栽培農民の夏期の血清鉄の減少を認めた。

換気窓, 換気扇を備えたモデルビニルハウス及びレストハウスを試作, 労働衛生面としての温熱環境の測定を4～6月に行ない, ハウス内温度は快感帯より高く, 至適温度よりは一層高く, 時刻によっては高温の忍限度を越え, 換気窓開放あるいは換気扇使用により労働環境の改善を認めた。レストハウス内環境は換気窓開放時あるいは換気扇使用時はハウス内より良い温熱環境であることを認めた。

## 論文審査の結果の要旨

本研究は、農民 および 漁民の健康調査を通して、その健康障害や 健康度の評価を試みたものであり、Fatigue Evaluating Equation (F.E.E.),「16項目採点法」などの提案を行ない、また 実験室的規模においてビニールハウスの環境衛生学的研究に手を着けた点が注目される。

よって、本研究者は医学博士の学位を得る資格があると認める。